

# 公開講座 **リンゴ**を科学する

日時：令和7年1月26日（日）  
時間：9：50～15：55（9：20受付開始）  
場所：板柳町 多目的ホール「あぷる」  
（北津軽郡板柳町大字灰沼字岩井61）

**参加費無料  
来聴大歓迎**

## 第1講演 10：00～11：00

リンゴの平棚栽培 ～脚立不要のリンゴ栽培～

伊藤 大雄（弘前大学農学生命科学部 教授）

リンゴの平棚栽培試験を20年間続けてきました。

最も良い成績を得たのはM26台木の「ふじ」を樹間2.5m・樹列間4mで栽植した試験区です。成園化後の平均果実重が360g、10アール当たり収量が4.6～7.1トンと大玉で安定多収、しかも省力的です。

本講演では、平棚仕立ての可能性ばかりでなく、問題点も含めて幅広くお話しします。



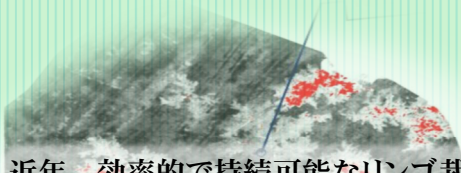
## 第2講演 11：15～12：15

リンゴ園におけるスマート農業の可能性について

張 樹槐（弘前大学農学生命科学部 教授）

近年、効率的で持続可能なリンゴ栽培を実現するために、スマート農業技術が注目されています。

本講演では、我々の研究室で取り組んでいるIoTセンサーやドローンを用いたデータ収集をはじめ、世界各国で報告されているAIによる病害予測やロボットによる収穫の自動化などの実例を交えながら、その可能性について皆さんと一緒に考えていきます。



## 第3講演 13：30～14：30

リンゴの小さな大害虫「ハダニ」を天敵「カブリダニ」で防除する

岸本 英成

（農業・食品産業技術総合研究機構 植物防疫研究部門

果樹茶病害虫防除研究領域 上級研究員）

ハダニは約0.5mmと非常に小さいものの、農薬が効きにくい性質を持つため防除に大変苦勞しているリンゴの大害虫です。そこで、農薬の代わりに「カブリダニ」というハダニを食べるダニを利用して、ハダニを防除する研究が進められています。

本講演では、リンゴ園に生息するカブリダニを有効利用したハダニ防除の取り組みについて紹介いたします。

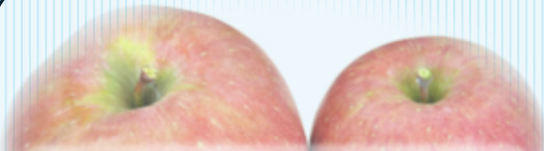


## 第4講演 14：45～15：45

リンゴ新品種の商業化 ～150年の歴史を振り返る

黄 孝春（弘前大学人文社会学部 教授）

新品種に対する関心は極めて高く、関係者は優良品種の海外輸入や品種改良に取り組んできた。それまでの新品種の商業化過程を見ると、新品種を資材として位置づけ、産地を挙げて栽培技術体系の確立を優先してきた。しかし、育成者権の強化に伴い新品種を知財として捉えた場合、サプライチェーンの今後にどのような影響を及ぼすのか、私見を披露し一石を投じたい。



主催：弘前大学農学生命科学部  
附属生物共生教育研究センター  
共催：板柳町  
後援：弘前市 平川市 藤崎町

事前の申し込み・問い合わせ

弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター 藤崎農場  
TEL:0172-75-3026 FAX:0172-75-5646

- 座席は十分ありますが、会場定員（150名）で締め切ります。
- 当日参加も可能ですが、事前申し込みの方を優先します。